

【要点】 ③文字式の利用

(1) 等号 (=) を用いた表現

[例] 1個 a 円のリンゴ3個と、1個 b 円のみかん5個を買い、1000円出したときのおつりが c 円だった。 a, b, c の関係を、文字を用いて表せ。

[解] リンゴ3個で $3a$ 円、みかん5個で $5b$ 円なので、合計 $(3a+5b)$ 円。
1000円出したときのおつりが c 円なので、

$$1000 - (3a + 5b) = c \quad (\text{又は } 1000 - 3a - 5b = c)$$

という関係が成り立つ。

(2) 不等号 (<, >, ≤, ≥) を用いた表現

[例] 次の数量の関係を、不等号を用いて表しなさい。

(1) 1個 a 円のリンゴ3個と、1個 b 円のみかん5個を買い、1000円出したらおつりがきた。

(2) 1本 $2m$ の棒を xcm ずつ切り分けたら、 xcm の棒が12本取れ、端が少し余った。

[解]

(1) リンゴとみかんの代金の合計 = $(3a+5b)$ 円。

1000円出しておつりがきたということは、合計代金が1000円より安かったということなので、

$$3a + 5b < 1000 \quad (\text{又は } 1000 > 3a + 5b, 1000 - 3a - 5b > 0)$$

という関係が成り立つ。

(2) $2m = 200cm$ 。 xcm の棒12本分は $12xcm$ で、端が少し余ったということは $12xcm$ は $200cm$ より小さいということがわかる。よって、

$$12x < 200 \quad (\text{又は } 200 > 12x, 200 - 12x > 0)$$

という関係が成り立つ。